

■ 「マレーシア IT 産業及びデータ産業勉強会・情報交換会」開催

平成 26 年 4 月 23 日 14 時 30 分から、日東紡ビル 4 階会議室において、「マレーシア IT 産業及びデータ産業勉強会・情報交換会」が開催された。出席者は計 42 名。講師は、杉山 尋美氏(マレーシア・マルチメディア開発公社 日本代表)に加え、マレーシアから Mr. Billy Lee 氏(MDCA)、Mr. Tan Tze Meng 氏(MDEC)、現地企業の担当者(AIMS 社、BasisBay 社、FREENET 社、HDC 社)を迎えた。



豊富な天然ガス資源を背景に電力コストも安く、地震・台風等の自然災害がなく、親日的で、政治情勢も安定しているマレーシアは、データセンタ立地として注目されている。本勉強会では、その背景や現状について紹介することを目的に企画された。

まず、杉山氏は、マレーシアへ進出した企業の事例を示し、マレーシアのグローバル・ビジネス拠点としての魅力を紹介した。また、平成 24 年の海底ケーブルの敷設をきっかけにマレーシアの通信事業コストが大きく改善したことや平成 26 年にジョホールバルの北 40 キロの場所にデータセンタパークが建設される予定であること等を紹介した。

次に、Mr. Billy Lee 氏、Mr. Tan Tze Meng 氏より、マレーシア政府が行っている各種支援政策について紹介があった。特に、データセンタ産業については、戦略的な取組 (EPP3) によって、海外企業へは法人税減税や投資減税、立地手続きの簡素化などが進められている。なお、支援詳細は、[Malaysian Data Centre Alliance \(MDCA\)](#)を参照して下さい。

その後、現地企業 4 社の担当者より事業内容や技術力についての紹介が行われた。

最後に日本データセンタ協会と MDEC との間で、データセンタ分野における今後の協力に関する MOU が締結された。これを機に、両国の連携がさらに強化されることが期待される。



勉強会後に開かれた情報交換会では、講演者及び参加者による活発な情報交流が行われ、データセンタ産業分野におけるマレーシアの注目度の高さがじられた。

(増田)